

幼 兒 教 育

第 二 十 二 卷 第 三 號

大 正 十 一 年 三 月 十 五 日 發 行

目 次

末子や獨り子と幼稚園	平田華藏
離乳後子供に與へる食物	竹野芳次郎
中間學校としての幼稚園	青木誠四郎
子供とダンス	池内とく子
女工及内職従業者の子供	林かつ子
愛國婦人會 兒童健康相談所の調査	武崎宗三
乳兒生齒期の注意	竹内茂代
會 報	
幼兒の家庭の職業とその知能との關係	苦瓜惠三郎

日 本 幼 稚 園 協 會

會 告

○會費御拂ひ込みの節は御名前は初め御入會の時の御名前と同じにして頂きたう存じます。例之ば初め幼稚園名にて御入會になり、後、個人の御名前にて會費御拂込み等のごとき様に願上ます。整理上甚だ煩雜致しますから。

○會費未納は會計整理の上に甚だ困難致しますから確實に御納付下さいまし。向後萬一御不納久しきに亙ります場合は乍遺憾雜誌發送を停止致します。

○會員諸君にて御轉居等の節は至急御一報願ひます。

○萬一本誌不著等のことがございましたら直に御一報煩したう存じます。

本誌定價

一冊(郵税共)金貳拾五錢 六冊 前金壹圓五拾錢
十二冊 前金 參 圓 (郵券代用壹割増)

購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

大正十一年三月十二日印刷
大正十一年三月十五日發行

東京市外千駄ヶ谷原宿三百四番地
編輯兼發行者 黒 瀬 豐
東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷者 柴 山 則 常
東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷所 會社 杏 林 舎

發行所 日本幼稚園協會

幼 兒 教 育

第二十二卷
第三三號

大正十一年三月十五日發行

末子や獨り兒と幼稚園

文學士 平 田 華 藏

私の子供は小石川竹早町の女子師範の附屬幼稚園に通ふて居ります。私がこの學校に關係して居ります上から、此處の幼稚園は設備としても充分ではありませんし、少し校内が狭いので、幼稚園がおしこめられ氣味になつて居りますので、色々の缺點をよく知つて居りますが、私の子供は末子で一人息子である事から、尙更幼稚園へ御世話になる事にいたしました。

幼稚園は子供等にとつては誠に大切なものであることは今更申上げる迄ありませんが、末子とか、獨り子とかに取つては非常に必要なものであります。私には三人子供がありますが、唯今幼稚園に通ふてゐる子供は、その中で一番末であり、そして只一人

の男の子であります。その上親戚等にも女の兒ばかりが多いので、皆が私の子をもてはやして可愛がりすぎ私の妻も子供の中では一番多く可愛いがり、私までがかうではいけないと思ひながらつひまた可愛いがりすぎるのであります。

末子とか獨り子とかは、このやうに親の溺愛をうけることが多く、従つて同じ年輩の子供にも接する機會を與へられず、とかく家庭内に於て偏した教育をうけさせられることが多いのであります。幼稚園教育は、善良な保母方の感化をうけて子供等がよくなるといふ事もありますが、同じ年輩の子供等が集つて、その中で子供が子供に及ぼす感化そのものは實に偉大なものであります。まして、子供同士の

受ける影響が、善良な保母方のよい指導の下に行はれるとなつては、尙更有益なものであります。子供は大人と一緒に居つたばかりでは、子供としての生活を有益に送ることが出来ないであります。子供には子供の友達がなくてはならないのであります。末子や獨り子には、この大切な子供の友達が缺けて居るのであります、これが、子供としての身心發育に大なる妨害となるのであります。それで、特に末子や獨り子を持つて居られる父兄方に、幼稚園教育の必要をお話したのであります。

實は、私は以前大阪に居りました時、大寶小學校及び其の附屬幼稚園の兒童につきまして、長子、獨り子、一末子の研究をして見た事がありました。調査の材料をまごめかけて居る時に、上京するやうになりましたものですから、上京後なんとなく多忙で未だ充分に出來て居りません。いづれまごめましたら、又御誌を拜借して發表させて頂きます。左はその一部分であります。

私が調査しました末子は、幼兒九名(男四、女五)、兒童九十一名(男三七、女五四)についてであります。この子供等に最も接近して世話をした養育者を調べ

て見ますと、母六二人、祖母一六人、伯叔母八人、父三人、女子乳母二人であります。

一、祖母に育てられた子供の一般的特徴、

イ、性質因循、我儘、執拗なるもの多い

ロ、交友の狀態は不和のもの多い

ハ、體質は中以下のもの多い

ニ、勤惰狀況は不良のもの多い

二、伯叔母に育てられた子供の一般的特徴

イ、性質多くは我儘執拗

ロ、交友の狀態は不良なるもの多い

ハ、操行よからざるもの多い

ニ、勤惰狀況不良のもの多い

三、父に育てられた子供の一般的特徴

イ、私が調べた者三人は二人まで凡ての方面に放縱な事が目立つてゐました

左に掲げますのは、前に申した末子(幼兒九名、兒童九十一名)についての一般的調査の表であります。

一、學業成績は概して良好で、四七人までは優秀の部に入るものでした。

二、動作は、活潑のもの三三%、不活潑三%、靜肅沈著のもの一三%、輕率のもの五%、普通八%、

三、言語は概して明瞭のもの多く、随分多辯のものが多かつたのであります。不明瞭のもの、低聲なもの、吃音あるもの、合せて二八%

四、交友の状態は概して不良で、右百人の子供の中三十六人までは怒り易く、争を好み、喧嘩をよくする子供でありました。

五、感情は概ね鋭敏情緒の發露が明かである子が多く、家庭について聞いて見ると、恐怖の情緒は夙くより明瞭に烈しく現はれたこのことであります。

又反對に少數のものは感情が弱く遲鈍で、普通と見らるゝものは比較的少數でありました。

六、意志は弱くして持續せざるもの多く、又強くとも持續せざるものが多かつたのであります。

七、身體の方面についての調査、

イ、身長は男女共に全校園幼児兒童の平均に比して劣つてはゐません。但し、幼兒時代及び一年生は一般の子供に比して劣つてゐますが、上級に進むに従つて、平均を凌駕してまゐります。殊に女兒に於て著しいやうです。外國でも一般に獨兒や末子は早熟だと申されてゐます。

ロ、體重は一般の平均に劣りますが、上級に到つて良好となり、女子は學校時代に入りて一般平均を優に凌駕してをります。

ハ、胸圍は男兒も女兒も一般に比して發育良好でありました。

ニ、體質は上のもの二八%、下のものが三〇%、其他は中位でありました。

低學年及び幼兒には、顔色の悪いもの多く、家庭について聞いて見ると、間食の過ぎるものが多かつた事がわかりました。

誠に粗雑な研究でありまして、恥しく存する次第であります。今はこの家庭でも、幼稚園へ入學させる準備で御忙しいことと思ひますから、末子、長子、獨子は餘り可愛いがり過ぎて、一寸でも手はなすのが惜しく、家にばかり置かず、どん／＼幼稚園へ御送りなされた方がよいと存じますので。此處に一言お話してみたのであります。

離乳後子供に與へる食物

醫學博士 竹野芳次郎

赤坊が母親のお乳を離れてから、即ち生後滿一年を経てから、五歳になる迄の、子供の食物に就いて申上げてみたいと思ひます。

この時代は一番食物のむづかしい時でありまして大人と同じ食物を與へては、子供の完全な發育をどげさせる事は出來ないのであります。然し、残念な事には、我國の家庭では、二三歳になれば、大人と同じ食物を與へて平氣で居りますが、之は榮養發達の上から大いに間違つて居るのであります。

殊に、滿一歳から三歳の間の食物は、むづかしいものでありまして、今迄飲みなれて來た母乳から他の固形物に移る時で、食物の過渡期とも云ふ時であります。この時に、急に一時に食物を變へると、子供が腸胃を損じますから、漸次流動物から固形物へと移つてゆかねばなりません。乳兒も消化器病が多うございますが、滿一歳から三歳迄の子供には乳兒より更らに消化器病の多いのは、食物の加減による

のであります。

赤坊が生れてから滿一年の間は、母乳、即ち流動物で然も動物性食物をこつて育ちます。滿二年からは動物性食物ばかりでは完全に行きませんから、他に植物性食物を與へねばなりません。

此處に一寸お話をつけ加へて置かねばなりませんのは、滋養素に就いてであります。滋養素とは、蛋白質、含水炭素、脂肪、礦物質の四つが主なるもので、其他近年になつて、ビタミンが大切であること云はれるやうになりましたが、大體はこの四つが主なるものであります。

生後滿一年すぎた子供は、蛋白質は主として牛乳から取ることにすればよろしいです。滿一年立つても尚、母乳を與へてゐるのは、完全な滋養素をとる上からよろしくありませんから、母乳はやめた方がよいと思ひます。蛋白質は今申したやうに牛乳より取りますが、礦物質も亦牛乳より取ります。牛乳と

母乳とを比較すると、牛乳は母乳よりも蛋白質三倍、
礦物質五倍と云ふ割で、遙かに母乳よりは量が多い
のであります。

含水炭素は、生後一年迄は母乳或ひは牛乳等の乳
糖の中から取つてゐましたが、滿一年後は、澱粉か
ら取つてもよろしいです。澱粉質のものは、お米か
ら出來たもの、即ち、重湯、お粥、御飯であります
が、此のうち御飯は滿一年後の子供には早過ぎます。
その代り、小麦から出來た食パンを與へてもよろし
いです。脂肪は大人ならば、フライ、テンブラ、肉
などから取りますが、一年過ぎた子供には、さうい
ふ物を與へる事が出來ませんから、矢張り消化し易
い牛乳より主として取ることにします。食パンにつ
けたバター等は少々ならよろしくあります。

生後滿一年位過ぎた子供に、今迄等閑にされてゐ
たのは礦物質でありました。この時分の子供は、歩
き出して運動をし始めて來ますから、骨格を丈夫に
する事をせねばなりません。血液をこしらへる成分
になる鐵分は、赤んぼが生れて來る時には、母の體
内から殆んど一ケ年必要であるだけの分量を持つて
來るものですが、滿一年立つてからは、その鐵分は

なくなつてしまふのであります。それで、食物から
その鐵分を補はねばなりません。所が母乳、牛乳に
は、血液の成分となるべき鐵分も、骨の成分となるべ
きカルシウムもないのであります。それで鐵分と
カルシウムは野菜から取らねばならないのです。
今迄、世間の人々は、野菜を食する事を等閑にし、
子供に野菜をやると便が青くなるとか、不消化であ
るとか云つてゐますが、之は野菜を上手に調理して
與へないからであります。

野菜の中で礦物質を多く含んでゐるものを左にあ
げます。左の分量は、野菜千瓦につき礦物質の分量
であります。

チシャは一八瓦(鐵分は礦物質の五・三%、カルシ
ウムは一・九%)

ホーレン草は一六・五瓦(鐵分は三・四%、カルシウ
ムは一・九%)

ハクサイは九・九瓦(鐵分は〇・七%、カルシウ
ムは一・二・六%)

カブラは八瓦(鐵分〇・八%、カルシウム一〇・
六%)

牛乳は六・四瓦(鐵分は〇・三%、カルシウムは

二二・四%

人乳は一瓦(鐵分は二・二%、カルシウムは二七・八%)

これで見ますと、チシヤは一番鑛物質が多くあります。鐵分の多いのはサラダ菜ですが、サラダ菜はたやすく得られませんから、ホーレン草を用ひるがよくあります。ホーレン草は何處の八百屋にもあり、柔らかでもありますから、一年を経た位の子供には一番適して居ります。ホーレン草も始めは、ぢかに與へず、よく煮て、細く切りたゞいて、うらごしにかけて、お醬油と砂糖で味をつけて與へます。ホーレン草等をやる時、子供の便が青くなつたとて心配する母親もありますが、決してこれは心配するに及ばぬ事で、かうした料理で與へれば、消化もよく結構です。鑛物質も含水炭素も共に含んでゐるものとして、馬鈴薯、人参もよろしく、つぶして、うらごしにつけて與へます。子供はいろ／＼の野菜をませたものを喜びますから、このやうな料理法でませてこしらへて食べさせると滋養になります。

次に、鑛物質を取るに必要なものは、果物であります。これは子供の食慾を増し、消化をたすけます。

バナナはそのまゝ皮をむいて與へればよろしくありますが、リンゴやナシは、皮をむいて、大根下しですつて、汁だけ與へるか、或は汁と共に下ろした果肉を與へてもよろしくありますし、二年位経た子供なら、ジャムのやうに、砂糖で煮て與へてもよろしくあります。

これで生後滿一年から、二年三年までの子供の食物を大體述べましたが、次に四年から五年までの子供の食物に就いて述べます。

生後四年五年になりますれば、蛋白質は、肉、卵、魚類(脂の少ないもの、アマダイ、カレイ、キス、アチの類)等から取つてよろしくなります。魚類はさしみとしてはいけません、煮るとか、焼くとかして與へればよく、肉類も、おぼろにたゞいて煮て、御飯にかけて食べさせるのがよくあります。卵は、一年二年の頃には黄味だけ與へますが、四年五年は白味も一緒に與へてよろしく、半熟、焼き卵にして與へます。殊に卵の半熟は消化よく、焼卵は餘り煮るとかたくなりますからほどよくし、ゆで卵は不消化ですから、餘り與へてはなりません。

含水炭素は、御飯の中から取るやうにし、脂肪は

魚類、肉類からも取る事が出来ます。礦物質は、生後一年二年の子供の食物で申したやうに、野菜から取ります。野菜も、四年五年には數をふやし、大抵のものは食べさせてよく、サツマイモ、ヤツガシラ、コイモ、カブ、キャベツ、ハクサイ等の煮たものがよろしくあります。たゞ、ゴボー、ハス、コンニャク、魚類では、スルメ、イカ、タコ、果實では、ビワ、ブドウ、モモ、ハタンキョ、スモモ等は、四年五年の頃には與へぬ方がよろしくあります。

終りに、間食に就いて申したいと思ひます。お母さん方の中には、間食は衛生上よくない、と云つて居られる方もありますが、子供の發育を助けるためには、與へた方がよろしいと思ひます。午前十時及び、午後三時の二度位、時間を定めて、與へればよいのです。間食には、お菓子をどこのお家庭でも與へて居られますが、食後直ちにお菓子を與へるのは、衛生上わるいのであります。どんなものを、間食に與へてよろしいか一寸申上げますと、

生後一年には、ウエーハー、衛生ボール、カルヤキ、フーセンアラレ、生後二年三年には、上等のビスケット、イソベセンベイ、カルルスセンベイ、キ

ヤラメル、ドロップ、水無飴、四年五年には、カステラ、シホセンベイ、堅いビスケット、カタバン等。お菓子は砂糖氣がありますから、澤山與へては胃腸の消化をわるくしますし、又お菓子がおいしいため食べすぎて、三度の食事をとらぬやうな事になり易くなりますから、よく注意して、量を過さぬやうにせねばなりません。

六歳以後は、大人の食物を普通にとらしてよろしくなります。前述しましたやうに、我國の家庭では、衛生の知識の進まない爲め、三四年早く大人の食物を子供に與へて居りますが、丈夫な子供は胃腸も悪くせずどうにか育つてゆきますが、これは眞の子供の發育上からは實に悪いのであります。

中間學校としての幼稚園

文學士 青木誠四郎

(一)

幼稚園について考へてゆかねばならないことは、種々であつて、またこの各がそれぞれ幼稚園の存在について、その必要を考へしめるものである。或は幼稚園それ自身の独自の立場から考へられるものもある。家庭との關係に於て考へられるものもある。更にまた小學校との關係に於て考へられるものもある。今私は、こゝに、その一つとして家庭と學校との中間にたち、全教育系統中に缺くべからざるものとして、その聯絡をとる幼稚園の機能について、少しく考へて見たいと思ふのである。これ即所謂中間學校である。

(二)

兒童が學齡に達して、就學すると云ふ事實は、その生活にとつて一大變動であるが、こは一般に身體の發育を遅延せしめ、又は阻止すると云はれてゐる。殊に兒童の身體が弱くかつ學校の衛生状態の悪い場

合には、これが著しい、と云ふことである。今是等について研究した二三をあげて見るに、

ボヘミアのルンブルグで、クワースフィールドが研究したところによれば、第一年の死者中その四十六％は、體重が増加せず、二十一％は體重を減少したと云ふ。しかも、第二年では、この増加しないものが、一〇％に減じ、第三年では、八％、第四年では六％に減ずるのを見た。

エンゲルスベルグ及チーグラウは、五歳から六歳の學校兒童凡五百人について、入學當時の體重と入學後二ヶ月の體重とを比較して見たところ、その二〇％だけ體重の減少を見た。

シュミット及センナルドは、學校に入學した兒童と、入學しない兒童との身長、體重の比較をして見たところ、前二氏の研究と同一の傾向を示してゐた即次の如くである。

重量の増加

身長の増加

男 女 男 女

入學しないもの 二・二 一・九 七・四 五・六

入學したいもの 一・五 一・六 四・二 四・六

其差、 七・三 三・二 一・一

日本に於ては、まだかくの如き研究をしたものはない。かつて私がある小學校について、各學年の病氣缺席の數をしらべたものがあるが、これは、やゝこの傾向をあらはしてゐる。即

學年 一年 二年 三年

缺席者、 一一・五 七・八 七・一

この數は、ある年度に於ける多數生徒の缺席を平均して出したものであつて、大體の傾向は、毎年度同じであるから、その消息を視ふに足りる。

以上述べたところについて考へるに、これ等は、いづれも、學校生活就中、その規則的生活と、學習の負擔から來るものと考へられる點が多い。シュミットの如きは、就學は、神經系統にショックを與へて幼年兒童の生長を害するものであると云つてゐる。思ふに、兒童は、これまで母の膝下にあつて、束縛のない、そして何等拘束となる様な心的作業をしたことがないのに、一旦學校に入ると、すべてが束縛

をうけ、しかも絶對的に學習、作業が加はるのであるから、この影響がないわけにはゆくまい。

これを要するに、兒童の小學校第一年度に於ける生活は、その健康状態から見て思はしからざるものがあるのである。

(三)

小學校の第一年度に聯絡するものは、幼稚園である。こゝに於てわれ／＼は、いかにこの不健康状態を幼稚園として考へなければならぬかと云ふことに思ひ至るのが當然である。

上述のようにこれ等不健康状態は主として、生活の激變から來てゐることは、やゝ明かなことであるが、小學校の機能(現在の)を果すためには、かゝる強制作業や、規則的生活は、實に已を得ざるものである。そこで、かくの如き、強制の度、規則的生活の度の一層緩なものから、兒童の生活をかゝる生活に馴致せしめる必要が認められるのである。あたかも幼稚園は、家庭と學校との間にあつて、家庭のよくな、全く拘束のない生活から、強制作業を著しく課するような學校へゆく、中間の生活をなさしめる機能を果すものとして、所謂中間學校の役にたつも

のである。であるから、他の幼稚園の有する機能として、大切なものはあるであらうが、またこの意味も、充分に考へて、幼稚園の教育をなすべきであると思ふのである。

(四)

さてかゝる機能を果すために、幼稚園は、どんなことを考へてゐなくてはならないであらうか。

幼児をひきうけて、その保育に任ずるとき、そして、これに對して、上述の様な、生活の順應、訓練をする場合に、その兒童の發育の歴史を知ることが、最も大切なことである。この知られた基礎の上につて、兒童の心身について充分養護の任を果さなくてはならない。

今、一例としてある學校に於ける、尋常一年生の就學前の罹病の状態を見るに次のようである。

	男		女	
	實數	%	實數	%
1、麻疹	二〇	八三・〇	一七	六五・五
2、百日咳	八	三三・二	一四	
3、耳疾眼疾	六	二五・〇	四	一六・七
4、疫痢	二	八・三	〇	〇
5、デフテリア	二	八・三	三	一二・五

6、肺炎	〇	〇	二	七七
7、火傷	一	四・一	二	七七

かくの如くであるから幼児の中にも多くの病氣をされたものゝあることは明かである。

これ等の病氣も、普通は二回位であるが、多いものは四回にもものぼるものがあるのであつて、かゝる頻回の疾病は、心身共に兒童の發育を害するものである。

これは、一つの例にすぎないが、兒童の就學前の發育の狀況を調べて見ると種々な状態を呈して、決して一様ではない。歩きはじめの時期でも、ものゝ言ひはじめでも、あるひは、乳が母のであるか、人工の乳であるか、齒がいつ生えはじめたか、と云ふ様なことは、いづれも子供によつて、多少とも相違がある。しかも、この相違は、みな兒童の發育の上、それぞれ重要な意味をもつてゐるものである。歩行のおくれたものや、言語のおくれたものは、その心身の發達がわるい。人工乳で育つた兒童は、身體の虚弱なものが多い。と云ふ様に、發育の状態をしらべたいけれども、その兒童の現在の状態についてその如何を見るに足りるものがある。

而して、この心身の發達の兒童による相違を無視して、その心身に相應しない作業を課すると、その結果は、既に述べたような影響が、著しく負擔の過重な兒童にあらはれるのである。

故に、幼稚園に收容する兒童については、入園當時に精しい身體、精神の觀察をなし、この一助として、歩行、言語のはじめ、生齒、榮養の種類(母乳、牛乳等の別)及家族死亡の有無等をはじめとして、諸種の疾病就中、麻疹、百日咳、腫脹腺、恐怖症、胎毒、猩紅熱、デフテリア、又は怪我、火傷の如きについて、詳細の質問をして、その兒童の發育史を知るの要がある。

かくして、著しく發育狀況のわるいもの、例へば罹病の頻回のもの、歩行や言語の著しくおかれてゐるもの等は、或はその作業に於て、或はその遊戯や運動に於て一層注意して、以つて、小學校入學までには遺憾なく準備のできるようにし、更に就學年齢に達しても就學不適當と認めるような場合には、幼稚園自ら就學の猶豫をはかるようにしたいと思ふ。

かくて小學校に入學する前に、發育のおくれたものは勿論、普通のものも、充分の訓練ができ、學校

生活への順應をするに至れば、小學校における、種類の影響は、非常に減ずるよう考へられる。これが、幼稚園が、この中間學校の任務を果すように願ふ所以である。四月からはじまる學期は、近きにある。少しでも幼きもの、ために幸福な生活を祈る心に堪えない。(一、二、三)

鶯

天 行 生

ウグヒスさん

ウグヒスさん

あなたの翼の動きで

東風コチを起して下さいな

ウグヒスさん

ウグヒスさん

あなたの口から四方山へ

春のおとづれ知らせてよ

ウグヒスさん

ウグヒスさん

あなたが飛べば梅は咲き

陽氣な春がついて来る

子供ごダンス

池内舞踏場 池内 徳子

三月も半ばとなれば、子供たちには、うれしい楽しい春が訪れてまゐります。今迄、お寒い冬に室内にばかり閉ぢこめられてゐた子供達は、緑色の草を踏み、青色の空を仰いで、戸外に活潑に運動するのを、どんなに喜ぶでありません。

私は長い間米國に生活してダンスを研究して居りましたのでございますが、米國諸都會に於ては、公園をさまよふ人々は、子供等が青々とした草地に集つてダンスをしてゐるのをよく見かけます。大抵は簡單に、蓄音機を家から持つて來て、それを芝生の真中にしかけて、男の子も女の子も方々から集つて手をつないで楽しさうにダンスしてゐるのでございます。時として、米國の人々は氣輕で無邪氣です。から、大人や、おぢいさん、おばあさんまで、子供等の群に加つて、踊つてゐるのを見かけます。實に愉快で、見てゐる者さへ心が晴々といたします。このやうな無邪氣な様は、我國の公園では、見うける

ことが出来ません。それは、ダンスが未だ一般に普及してないからでございます。

外國の家庭では、お子さん方には、小さい時から、ダンスを習はせます。ダンスを習はせるのは、社交的の禮として外國では必要なばかりでなく、他に實用的な利益があるのでございます。子供等にダンスをさせる時、體の姿勢が正しくなり、動作がしなやかに優美になつて、然も體の發達をよく致します。その上、子供達が、一寸位ころんでも、又電車の中などは足をふまれても、容易に怪我しなくなります。これは足に彈力が出来るからでございます。このやうな利益があります上に、子供達は、體が一體に彈力があつて、いつでもびよん／＼飛んでゐるものですから、ダンスをしこむにしても、先づ子供の好きな飛ぶダンスから始めますと、喜んで直ぐ覺えてしまひます。

先づダンスには、ソーロー・ダンスとて、獨りで踊

るもの、ちやうど日本の踊りのやうなものもあれば、デュエットと云つて二人組んで踊るものや、グループ・ダンスとて、集つて群になつて踊るものや、トリオと云つて三人組んで踊るものや、デムチーズム・ダンスと云つて體操的なダンスや大人のするソーシャル・ダンス等、色々澤山ありますが、たゞ名前だけを書いても、實際に御覧にならないければ面白くもありませんから、これ位にさせて頂きます。

私が米國から歸へると直ぐ、故郷の福島縣の若松で依頼をうけましたので、幼稚園の保姆の方や、小學校の先生方に、新しいダンスをしばらくの間講習したことがございました。中々、皆さんがダンスに對して深い興味をもつて、私のやうなものゝ講習でも、熱心にやつて下さいました。然し、體操の先生を長くして居られた方は、そのくせがついて、體操式にぎこちなく歩いたりされるので、體をしなやかにして、その心ココロに力をこめてゐる、といふダンスの骨髓を表し難いやうに見うけました。私共の舞蹈場でも、軍人の方が二人お稽古に來られてゐられますが、これも體操の先生と同じことで、直ぐ軍隊式にごつ／＼なされるものですから、中々ダンスのタイプ

にならないで困ります。

このやうなわけでございますから、男子の大人よりは、體の優美な婦人の方が、幼い子供たちの方が、却てダンスに適するでございます。唯今、幼稚園や小學校で致して居ります遊戯等にも、いろ／＼工夫しましたら面白い事が澤山ございませう。麴町小學校の土川先生等がなすつて居られる表情遊戯等もその種類でございませう。一度參觀にまゐりましたし、又土川先生も私の舞蹈場へ御出でになりました。それから近次盛んに研究されてゐる、童謡踊り等もこの類でありませう。我國にも、色々新しい試みをされて居るらしいのを見て、喜んで居ります。是等の新しい試みは、初めの中は、見なれぬ人の目には異様に感ぜられ、又試みる人の方では經驗の不足な點から不充分であつたりして、とにかくに非難の多いものでもございませうが、追ひ／＼完全に進んでゆく事と思ひます。何しろ、ダンスは子供等より始むべきものでございます。

ダンスの聲が響きわたりましたのは、去年あたりからの事でございますから、外國に於ける程度になるのは、未だでございませうが、子供達を持つ母親方、幼稚園、小學校の先生方が、新しい思想をもつて、子供の教育にダンスを加へられるやうになすつたら、非常に興味多い事と思ひます。

女工及び内職従業者の子供

東京市社會局囑託 林 かつ子

富裕な何不足ない家庭では、其子供を養育するの
に、學校へ入れるにも、亦家庭教師を雇ふにも、思
ひの儘の理想通りの教育が施されますが、自分の生
活さへ満足に爲し得ない、勞働者の家庭では、子供
の養育に對して、兎や角思ふ餘裕すら無い悲惨な狀
態にあるのであります。左に女工や内職従業者の調
査に依つて得た一例を申し上げ様と思ひます。

日本の機械工業の半ば以上は、女工の手に維持さ
れて居るのであります。全國に約百萬人、東京府
下だけでも約六萬六千の女工が毎日生産事業に携は
つて居るのであります。そして是等の女工の約三割
七分は既婚者でありまして、其中の六割五分は一・
八人の子持ちになつて居りますが、工場生活中妊娠
した場合、現今の資本家は誠に冷淡でありまして、
多くの工場主は妊娠に依る經濟上の打撃を懼れて、
既婚者を嫌ひ、未婚者を歡迎する様な状態でありま
す。其の上、妊婦に對する何等の保護施設のない工

場が多う御座います。而して東京市内及び府下にあ
る三百十六の工場中、保護施設のある工場は僅に百
三だけで、其の保護施設の中主なるものを擧げます
と、日給の半額づゝ其の期間中給與するもの二十三、
全給を與ふるもの七、次に五週間休養させて其の間
半給を與ふるもの七、全給のもの一、四週間の休養
期間中日給の半額を給與するもの一、三週間の中日
給の三分の一を與ふるもの三、半給のもの四、全給
のもの八、それから二ヶ月以上休養させて、相當祝
儀即ち五圓或は十圓位與ふるもの十四、一ヶ月以上
休養させるのみで、出産手當を與へないものが十四、
及び共濟組合の扶助規定に依つて相當保護するもの
二十一といふ有様であります。

さて、工場生活中生れた子供は、どんな状態で發
育して行くかと申しますと、大部分多少でも餘裕の
ある女工は、勞働生活を棄て、家庭生活へかへりま
すが、働らかねば生活が維持されない様な餘儀ない

境遇の者は、乳兒を抱へながら、引續き工場生活を送るのでありますが、此の乳兒に對して工場ではどんな態度をとるかと申しますと、三百十六の工場中、哺乳時間を與へて保護して居る、工場は僅か百工場で、あとの二百十六は全く何等の保護方法もないのであります。工場の哺乳時間の給與方法に就いて申しますと、一日三回午前午後正午の休憩時間を利用して、哺乳させるもの五十九、一日四回午前午後各二回づゝ哺乳させるものが六、一日二回午前午後十五分づゝ哺乳時間を與ふるもの一、一日一回正午に三十分の哺乳時間を與ふるもの三、及び隨意哺乳せしむるもの二十七、二時間毎に給與せしむるもの二、三時間毎に十分の哺乳時間を與ふるもの二、と云ふ有様で、哺乳時間の無い工場に勤めて居る女工や、家に留守居なきもの、又は家庭と工場との距離の遠い女工は、止むを得ず無智な子守や、家族の手に托して、牛乳其他の人工榮養にて、養育して居るといふ實狀にあるのでありますから、無智から往々消化不良を起し、著るしく死亡率を高めつゝあるのですります。

夫婦共稼の家庭では、漸く獨り歩きの出来る位の

子供を、江東橋託兒所のやうな所や工場附屬の託兒所に託する者もありますが、そんな便のない處では、隣家の人や同居人に留守の間を託するのでありますから、玩はない子供は、父母の愛を充分に味はれない淋しさから、つい買食を覚え、小使錢をおびたゞしく費消するので、普通十五六錢、多い者は三十錢にも及ぶさうであります。其他、監督が行届かない爲、よくない遊びに耽つたり、卑猥な歌も覚え、従つて早熟する等、環境に支配されて、心身共に完全な發育を望むことは難かしいのであります。そして、かゝる群から、不良少年少女などが生れ易いのであります。

而して、内容は兎も角も、託兒場のある工場は、鐘淵紡績會社、富士瓦斯紡績、東洋モスリン、東京キヤラコ、東京モスリン、日本製麻赤羽工場、東京毛織南千住工場、大日本紡績深川工場、三田土ゴム會社、星製藥、陸軍千住製絨所、陸軍被服本廠、陸軍糧秣本廠、小石川砲兵工廠、淺草專賣支局など、十七八の工場に過ぎません。母親と共に朝早く家を出で、母親は工場に、子供は託兒所に、各々入るのでありますが、概して設備の不完全な託兒所に嫁姆

を相手に、十時間も十二時間も、退屈な時間を送り、夕方母親に連れられて家に歸るのであります。

内職従業者の家庭はどうかと申しますと、所謂、貧乏人の子澤山で、内職する人には一體に子供が多いのであります、女工にしろ、内職従業者にしろ、働く其の目的は、子供の養育といふことよりも、寧ろ生活費の補助といふことが多く、然し極めて例外としては、幾分資産を有して居つても、尙ほ子供の養育費を得んがために、勤勞して居るものもありませんが、一般に生活の壓迫をうけて居るため、教育などは念頭になく、僅かに著物を作つてやりたいとか、早く成人れすべしとか、願ふ位のものであります。こんな有様でありますから、國家としても、又各の家庭に於ても、適當の設備を施して、特種の教育機關を設ける事が、必要かと存じます。

○玉成保姆養成所生徒募集

四月より新學期開始、希望の方は麴町區上二番町三十六番地の同所に照會せられたし。毎日午後二時より五時迄、所長アルウイン女史面會せらるゝ由。

神戸だより

小磯 吉人

神戸市西部の發展は近時實に驚く許の有様で其發展地區の中樞に西代と申す所が有ります此地に從來盲啞教育に熱心せられて松谷富吉と申す先生が西神戸家政女學校と西代幼稚園を創設せんとて既に建築に著手し四月十日には開校式に開園の式を擧げらるゝ様に萬事運んで居ります各地に續々幼稚教育の機關が増しますことは悦ぶべき現象で御坐ります松谷先生が自己幼稚園の教育の方針を次の如く發表せられました。

幼稚園教育の方針

一、幼児教育は心身の發育に留意し感情教育に重きを置くことは大體の方針とするものなれども幼稚兒をして自然に親み惡しき

自然を征服して良き習慣を迎へさせることが必要であります、知識の啓蒙を圖ることは無論必要でありますけれども幼稚園時代は餘りに重きを置くにも及ぶまい唯小學校へ入學の下準備に留めて良しと思はれます。

一、子供は泣くが商賣なりとの惡諺がありますがそれは嬰兒時代の事でありまして既に四五歳にもなつて能く泣くのは自然ではありません、必ず何か心身に故障があるためでありまして本園では保姆も園兒も皆な終日、「ニコニコ」笑ふことを主義としたしと存じます。

一、塵埃の巷に子供を育つることの良くないことは誰しも知れる所なれども都會の家庭では已むを得ないのであります、又濼濁たる幼稚兒を狭い保育室内に留め置くことも感心は出来ませぬ故に我が園ではつとめて校庭で天日にさらさしむること山に登りて新鮮の空氣を吸ひ草葉の青き目を慰ましむることに最も深き注意を拂ひて感情的、神經質的の兒童たらしめず能く笑ひ、よく食へ、よく遊び、よく眠る、快活無邪氣なる幼稚兒を養成したいと存じます併し室内保育の眞價を没却するの意味ではありませぬ。

一、世の中に共同生活でなくてはならぬ所謂「相持ち」でなくてはならぬから幼稚時代より同情心を養む團體的動作に乖離せぬやうに、言ひ替ふれば圓然に世人と融合するやうに仕立て、他日一家を守り一國を守護し社會的國家的に盡すべき精神力の芽萌えを種蒔かればならぬ、進んでは世界人類の平和の聲に融合合致する所の大精神の基礎を造らねばなりません。

一、何れの家庭に於いても子供が居ては主婦の仕事が捗りかれます、ひよつとすると看護を怠りて、とんだ怪我などを致すことがあります商店などでは邪魔になつたり又は他の不良兒童と惡しき道に踏み込むこともあり、そこで我が園ではそれ等の弊害を未然に防ぐため一は以て家庭の生産力を助け一は以て愛兒をして良き方角善き道へと向はせて教へ導きたいと存じます。

一、其他具體的に申し上げますと數々ありますけれども大體以上の方針を以て最愛のおん御寶をお預りいたし保育の任を完ういたしたい考へであります。

愛國
婦人會

兒童健康相談所の調査

醫學士 武 崎 宗 三

時勢の要求に従つて、九段牛ヶ淵愛國婦人會内に

兒童健康相談所が開始されたのは、昨年即ち大正十年三月でありまして、やつと一年経りました。同所には私と、大星女醫、看護婦二名と共に毎週火、木、

土の三日、午後一時から四時迄、滿六歳以下の兒童達の體格検査をし、育兒上の相談に應じて居ます。

大正十年三月から同年十二月迄に來所した兒童の數は、千六百十一名に達しました。次に述べます成績は、昨年中來所した者に付てのものであります。

一、兒童年齢男女別

	男兒	女兒	計
一歳未滿	二八九	一六〇	四四九
一歳以上二歳未滿	一四一	一一〇	二五一
二歳以上三歳未滿	八一	五四	一三五
三歳以上四歳未滿	五二	三二	八四
四歳以上五歳未滿	五六	三九	九五
五歳以上六歳未滿	四九	二四	七三
六歳以上	三五	三九	七四

計 七〇三 四五八 一一六一

右のやうに相談に來る兒童は三歳未滿の乳兒幼兒が大部分を占めて居ます。

二、母親の年齢

來所兒童の母親の年齢は次の如くであります

年齢	人員
一五—二〇	一一
二一—二五	一六
二六—三〇	三七五
三一—三五	二二二
三六—四〇	一三五
四一—四五	四四
四六—五〇	八
五一以上	一
計	一〇〇三

即二十六歳以上三十歳迄の若いお母さんが一番多數であります。

三、兒童の家庭職業別

職業は多種多様ですが、多いものを挙げますと

會社員	一八七	官吏	一一五
職工	四二	教員	三六
店員	三五	菓子商	二七
大工	二〇	洋服商	一九
呉服商	一五	軍人	一三

と云ふやうに大體に於て會社員、官吏、教員等知識階級の勤め人の方が多くして勞働者の方面は少ない様です。

四、各區別來所兒童

神田	一七八	牛込	一四四
麴町	一二四	小石川	一三〇
本郷	八四	本所	六三
芝	四八	淺草	四八
下谷	三六	四谷	二八
赤坂	二六	京橋	二五
日本橋	一九	麻布	一九
深川	一六	郡部	一八三
計	一、二六一		

相談所の在る場所の關係上、神田區が一番多く、牛込、麴町、小石川、本郷等の山の手方面から來る者が多數なるは、第三項に述べました家庭の職業が

勤め人に多數なる事に一致するやうに考へられます

五、疾病の種類

來所兒童の約三分の一は診察の結果何かしら疾病を發見しました。勿論病氣の治療上の相談に來られる方もありますが、大多數は輕症の場合です。診斷した疾病の中には肺結核、肋膜炎、腹膜炎、先天性微毒、乳兒脚氣、肺炎、腦膜炎等の重症の疾病もありますが是等は比較的少なくして、多いのは氣管枝カタル(二〇二人)、消化不良症、牛乳煉乳榮養障礙症、腸カタル等(五六人)、脱腸(二七人)、腺病質(二六人)、滲出性體質(二〇人)等であります。

六、乳兒期の榮養方法

イ、天然榮養	七五五人
母乳	四人
乳母乳	
口、混合榮養	
母乳と牛乳	二二八人
母乳と煉乳	二一人
母乳と重湯	四人
母乳、牛乳と重湯	二人
乳母乳と牛乳	一人
乳母乳と重湯	一人
母乳、チチ粉と重湯	一人

母乳、牛乳と煉乳 一人
 人工榮養 一人

牛乳 五一人

煉乳 九人

牛乳と煉乳 三人

牛乳とチチ粉 三人

煉乳とチチ粉 二人

乳兒の榮養方法が約八割は天然榮養なることは誠に喜ばしい次第です。榮養方法で氣付いたことは、乳をむやみに、飲ませ過ぎて消化不良症等を起すものが多いのと、自分の乳で充分であるにも拘はらず乳不足のやうなりとの考へのもとに牛乳煉乳等を與へて兒童の胃腸をそこなふものある事と、兒童が少し吐いたり、大便の性質が悪いと直に乳兒脚氣な

七、相談所に於ける乳兒幼兒發育狀態

年齢	人員	平均	體重
滿一ヶ月	男 六(一五) 女 五(三〇)	男 一、三六二(一、二二四) 女 一、一九二(一、二一六)	男 一、四五六(一、四二二) 女 一、二四七(一、二九四)
”二”	男 一(三三) 女 一(二四)	男 一、七八一(一、六九七) 女 一、五二〇(一、六一九)	男 一、六一三(一、七五六) 女 一、七五五(一、八三四)
”三”	男 一(三五) 女 四(二五)		
”四”	男 一(三四) 女 八(二二)		

らざるかと大騒ぎをして母乳をやする事を中止して牛乳、煉乳等の人工榮養に換へて仕舞うお母さんが往々あるやうです。乳兒脚氣は恐ろしい、命取りの病氣ではありませんが、母乳を中止すると云ふ事は兒童にとつて大問題ですから果して母親が脚氣であるかどうか、乳兒は脚氣であるか、どうか、充分に檢索した上で母乳を中止するやうにする事が肝要であらうと思ひます。

七、相談所に於ける乳兒幼兒發育狀態

年齢	人員	平均	體重
滿一ヶ月	男 六(一五) 女 五(三〇)	男 一、三六二(一、二二四) 女 一、一九二(一、二一六)	男 一、四五六(一、四二二) 女 一、二四七(一、二九四)
滿二ヶ月			
滿三ヶ月			

滿五ヶ月

女男 二一(四六) 一、八八七(二、〇〇〇) 一、五〇〇(一、八四五)

”六” 女男 一六(二七) 二、〇一六(二、一〇五) 一、七五五(一、八六七)

”七” 女男 七(五九) 二、〇六七(二、一六一) 一、九二五(二、〇二三)

”八” 女男 二(四三) 二、〇九九(二、一四九) 一、九五三(一、九〇四)

”九” 女男 一六(四三) 一、九九〇(二、二二二) 一、九八八(一、九七八)

”一〇” 女男 一六(五〇) 二、二〇九(二、二一八) 二、〇六八(二、〇五九)

”一一” 女男 一〇(三〇) 二、二一八(二、二七三) 二、〇八五(二、二〇五)

一年以上一年六ヶ月 女男 五七(一二一) 二、三七五(二、三六四) 二、二七〇(二、二三五)

一年六ヶ月以上二年 女男 二四(八三) 二、六五五(二、六六三) 二、四五六(二、四八八)

一年以上二年六ヶ月 女男 二八(七〇) 二、九一一(三、〇〇五) 二、八三二(二、七六七)

二年六ヶ月以上三年 女男 二一(六九) 三、一二五(三、二〇九) 三、一八七(三、七九六)

三年以上三年六ヶ月 女男 一八(二九) 三、五五七(三、四七五) 三、二〇九(三、二四〇)

三年六ヶ月以上四年 女男 一(四一) 三、五六五(三、六九八) 三、四三六(三、四二六)

四年以上四年六ヶ月 女男 一五(三七) 三、八三八(三、九七九) 三、八三三(三、六六〇)

四年六ヶ月以上五年 女男 一三(四二) 四、〇八〇(四、〇四七) 三、八九一(三、七六二)

五年以上五年六ヶ月

男 一八(三五)
女 五(一八)

四、二九七(四、一一三)

三、七六八(三、九八三)

五年六ヶ月以上六年

男 一〇(三一)
女 六(二六)

四、三九九(四、五〇八)

四、四四七(四、一九五)

年齢

滿一ヶ月

”二”
”三”
”四”
”五”
”六”
”七”
”八”
”九”
”一〇”
”一一”
”一年以上一年六ヶ月”
”一年六ヶ月以上二年”
”二年以上二年六ヶ月”
”二年六ヶ月以上三年”
”三年以上三年六ヶ月”
”三年六ヶ月以上四年”
”四年以上四年六ヶ月”

平均身長

男 尺分
一、八六(一、八〇)
一、八五(一、九五)
二、〇一(一、九九)
二、〇四(二、〇九)
二、一三(二、一四)
二、一八(二、二〇)
二、二四(二、二五)
二、二四(二、二八)
二、二九(二、三〇)
二、三五(二、三四)
二、四〇(二、三六)
二、四五(二、四五)
二、六〇(二、六二)
二、七二(二、七五)
二、八二(二、八四)
三、〇〇(二、九九)
三、〇七(三、〇八)
三、一四(三、一九)

年齢

滿一ヶ月
”二”
”三”
”四”
”五”
”六”
”七”
”八”
”九”
”一〇”
”一一”
”一年以上一年六ヶ月”
”一年六ヶ月以上二年”
”二年以上二年六ヶ月”
”二年六ヶ月以上三年”

平均胸圍

男 尺分
一、二八(一、二二)
一、三五(一、三二)
一、三七(一、三七)
一、三七(一、三九)
一、三七(一、四二)
一、四一(一、四三)
一、四一(一、四六)
一、四二(一、四三)
一、四〇(一、四六)
一、四三(一、四六)
一、四三(一、四六)
一、四二(一、四七)
一、四七(一、四九)
一、五一(一、五三)
一、五四(一、六〇)
一、五九(一、六三)

年齢	男	女
滿三年以上三年六ヶ月	一、六二(一、六六)	一、五七(一、六〇)
三年六ヶ月以上四年	一、六四(一、七二)	一、六〇(一、六三)
四年以上四年六ヶ月	一、六八(一、七四)	一、六四(一、六三)
四年以上五年	一、七〇(一、七二)	一、六四(一、六七)
五年以上五年六ヶ月	一、七二(一、七三)	一、六三(一、六九)
五年六ヶ月以上六年	一、七五(一、七五)	一、七一(一、七〇)

年齢	男	女
滿一ヶ月	一、二六(一、二四)	一、二〇(一、二〇)
二	一、三〇(一、二七)	一、二一(一、二四)
三	一、三四(一、三三)	一、三一(一、二八)
四	一、三七(一、三七)	一、三〇(一、三四)
五	一、三九(一、三八)	一、三四(一、三六)
六	一、四一(一、四二)	一、三六(一、三八)
七	一、四五(一、四五)	一、三八(一、四〇)
八	一、四三(一、四五)	一、四〇(一、四一)
九	一、四五(一、四七)	一、四一(一、四〇)
一〇	一、四六(一、四八)	一、四四(一、四四)
一一	一、五一(一、四九)	一、四三(一、四六)
一年以上一年六ヶ月	一、五一(一、五一)	一、四四(一、四六)
一年六ヶ月以上二年	一、五六(一、五五)	一、五〇(一、五〇)
二年以上二年六ヶ月	一、五六(一、五七)	一、五三(一、五〇)
二年六ヶ月以上三年	一、六〇(一、五八)	一、五五(一、五四)
三年以上三年六ヶ月	一、六三(一、五九)	一、五六(一、五五)
三年六ヶ月以上四年	一、五九(一、六〇)	一、五八(一、五六)

滿四年以上四年六ヶ月 一、六三(一、六二) 一、六〇(一、五六)

四年六ヶ月以上五年 一、六四(一、六二) 一、六一(一、五七)

五年以上五年六ヶ月 一、六五(一、六三) 一、五六(一、五九)

五年六ヶ月以上六年 一、六四(一、六二) 一、六二(一、五九)

右の發育狀態の表中括弧内の数字は大正九年十月お茶の水教育博物館に開かれました内務省主催兒童衛生展覽會で検査しました兒童の發育狀態であります。検査人員は體重の項に載せた通りですから身長、胸圍、頭圍の項には之を省略しました。相談所に來ました兒童の中から健康兒童に就て發育狀態を調査したのですから人數も少なくなつたのです。従て年齢の長じた者の方が幼い者よりも、小さい数字を示した年齢階級もありますが大體に於て東京市の六歳以下の幼兒の發育狀態は右の表で察知する事が出來やうと思ひます。

以上の諸統計で見ますと、この愛國婦人會健康相談所に幼兒の診斷を受けに來る人々は、主として中流階級の人であります。こゝは無料でありますから、却て貧民階級の人々が集りさうなものであります。がさうでないのは、少し位の病氣の子供や、或は健康であつても發育狀態がどうだらうか、と心配してわざと子供を連れて來る餘裕等は、貧民階級の家庭にはないからであります。これを見ても、生活が安定さへしてゐれば、どの母親でも子供を一番に可愛いがることがわかります。また此處で調査しました子供の發育狀態は、兒童衛生展覽會に於ての六歳未滿の兒童の健康診斷成績と大同小異でありますから、現今の中流階級の幼兒の發育狀態は先づこんなものと思はれて間違ひないと思ひます。いづれまた完全な研究が出來ましたら、御誌に發表させて頂きます。

乳兒生齒期の注意

女醫 竹 内 茂 代

赤んぼに初めて歯が生える時期、即ち第一期生齒期と申しますのは、生理學の上では生後七ヶ月としてありますが、赤んぼによつて一人ノ異つてゐまして、生後四ヶ月にもう生え始めるのもあれば、一年二三ヶ月になつてやつと生えるのもあります。生齒期の早いものは、歯が弱いのが多うございます。

それは、顎骨の中で齒の芽が充分成熟しないうちに、早く外に生てしまうからでございます。齒の芽が充分に發育してから生えたものは、丈夫な齒になります。

赤んぼが生齒期に入りますと、必ず多少の生齒障礙を身體に起します。この症狀を一寸述べて見ます。

1、消化不良、

よく乳兒は生齒期に消化不良に陥ります。先づ青便が出たり、便と水分とが分れて、ちようど卵の半煮をはなしたやうな便が出たり、或ひは粘液が便に混じたり、白色の乳のかたまり其儘の便が出たりし

ます。そのほか、赤んぼは屢々乳を吐きます。又非常に機嫌が悪くなりますので、母親は手にあまして、つひ乳をやり過ぎますので、ますます消化不良を悪くする事になります。時としては、消化不良に熱を伴ふ事もあります。

2、氣管枝カタル

また生齒期の赤んぼは、氣管枝カタルに罹ります。咳や痰が出て、聲が加れてしまひます。これも前の消化不良の場合と同じに、熱を伴ふ事もあります。

3、神經症狀

次に、生齒期の赤んぼには、晝夜眠らずに泣き騒ぐ事があります。之は醫學の方で云へば、興奮状態に入つたといふものでありまして、赤んぼは痲癩を起し、何にでも直ぐ驚き、一寸した物音にでも、光にでも、感じ易くなります。

4、發熱

生齒期には、何だかわけのわからぬ熱が出て、長

い間、その熱が出たり、ひつこんだりして居りますので、お母さん達は驚いて、私どもの所へいらつしやる方も多うございます。

先づ、こんなのが、生齒期の赤んぼに起る生理的障碍であります。この状態が、一週間から二ヶ月も續き、時としては重篤に陥ることもありますし、或は風邪でも引いたのだらうと思つてゐる中に治つてしまふ程、軽いのもあります。今申上げた色々な症状を、皆合せて表はれてくる時もありますし、又其の中のどれか一つが現はれる時もあります。他の病氣と異なる點は、齒が外に顔を出しさへすれば、急によくゐる、といふ所でございます。例へば、消化不良のやうなのは、他の場合ですと、可成り長びいて中々治り難いものであります。生齒期の消化不良ですと、齒がはえてしまふと、からりと治るのでございます。

それでは、赤んぼの生齒期に起るこのやうな身體上の障碍に對して、お母さん方はどう手當をしてよいかと申しますに、一般の病氣と同じ手當をするより外はないのでございます。

消化不良の場合でしたら、出来るだけお乳を制限

し、規則正しく與へる事が必要であります。生齒期になると、赤んぼは、身體の具合が悪いので、さかく機嫌もわるうございますから、お母さん達は、赤んぼのお守に困り果て、泣いたと云つては、つひお乳を飲ませ、むづかつたと云つては、つひまたお乳をやるといふ風になり易うございますから、この點をよくお氣をつけて頂きたうございます。

氣管枝カタルの場合には、咳、痰の出る時は、吸入、濕布をし、暖い室に居らせるやうにした方がよくあります。

神經興奮に陥つた時は、安靜にしておく方が一番よろしく、夜は電燈を暗くして、物音のない室に寝せるやうにします。餘り興奮状態がはげしい時には、醫師に診察して貰つて、臭素劑でも薬にもらつた方がよろしいです。

發熱の場合も、餘り程度がはげしかつたら、是非醫師に診察して貰つた方が、安心であります。

お母さん達は、可愛い、我子の身體のことゝなれば、直ぐ心配なすつて。醫師のもとに走つて來られますが、これが一番よろしいので、なかに、この位等と云つてゐるのは、一番悪いのでございます。赤

んぼの下顎を撫で、見て、堅くなつてゐる時分に、赤んぼはブー／＼云つて唾液を口から出してゐますのは、齒が生える時分で顎がいら／＼して氣持ちが悪いから、かうしてゐるのであります。お母さん方は、この様を見たら、もう生齒期に入るのだ、生齒期の障礙が起つて來る所だ、と早く承知して、手當をあやまらぬやうにて、醫師と相談して、生齒期障礙の豫防をしなければなりません。生齒期に於ける身體上の故障は、前に述べましたやうに、齒が生えてしまへば治るものでありまして、これで以て死亡するやうな事は殆んどありませんが、たま／＼母親の不注意から重症に陥らせて、愛らしい赤ちやんを失うてしまふ事がありますから、生齒期の障礙だからとて、等閑にすべきものでもございませぬ。

私は、健康な赤んぼに對して、「よく飲み、よく眠り、機嫌よく／＼、この三つを格言として居ります。お母さんのお乳をよく飲んで、夜は泣かずに眠り、晝は機嫌よくこ／＼して遊んでゐる赤んぼは、皆健康な赤んぼであります。この三つの中どれか一つでも缺いてゐましたら、その赤んぼは、身體に變調を起して居るのでございます。よくお乳を飲まない

とか、夜は眠らないとか、晝はむづかるとか云ふ時は、お母さん方の注意すべき時でありまして、生齒期の赤んぼは、この三つが缺けて居るのでございませぬ。健康な赤んぼを表すモットーとして、「よく飲み、よく眠り、機嫌よく、」をもう一度申上げて置きます。

○机邊より

……人類の生活が／＼限り悲しみは／＼くに違ひない。人類の生活が／＼限り、人生には喜びがあるにちがひない。しかし同時に人生には無限に涙が流るゝにちがひない。畢竟人生は喜びの中の涙であり、涙の中の喜びであるとも言へよう。

ほんとうに人生の喜びを噛みしめてみれば、そこに無限な人生の光りや、意義が潜んでゐることを知るであらう。

同様に、ほんとうに人生の悲しみを噛みしむれば、そこから無限な人生の香味といふものを味識することが出来るであらう。

私たちの感情を動かして人生の諸相に打つ突かつて行けば、喜びか、また悲しみかこの二つの氣分の何れかが、私たちの生活面をいつも掩ふことになる。……〔小鳥の來る日〕より

幼児の家庭の職業とその知能との關係

苦瓜惠三郎

兒童の知能の上に、環境と遺傳とが、偉大な力をもつてをるといふことは、今更論するまでもないこととあります。この意味において、家庭の職業と幼兒の知能とは、著しい關係のあるものでありませう。ことに從來の我國の狀態のやうに、學問をしたものは概して優れた遺傳素質をうけてゐるといふこと、これらのものは概して優れた家庭を作つてゐるし、遺傳素質のおとつたものは、多くは學問もなく、その家庭も前者に比較すると大抵劣つてゐる事から、家庭の種類によつて、遺傳素質及び環境の良否の大體の種類を決定しうることを考へられます。このやうな考へから、私が知能検査を行つた被檢兒の家庭を次の三類に區別しました。

第一類、教師、會社員、官公吏、醫師、僧侶、軍人、無職等。

第二類、商店（米屋、八百屋、氷屋、牛乳屋、藥屋等）、大工職、植木職、桶職、質屋等。

第三類、職工、工夫、日傭、車力挽、屑屋、鳶職、拾ヒ屋、船夫等。

以上の區別には、適確な標準をおくことは出来ませんでした。即ち、大工、植木屋の類を第二類に入れ、何故に職工を第三類に入れたか、といふことも、別に根據があつてのことではありません。唯一般に、一定の職をもつて割合に安定な家庭組織の出來てゐると思はれるものは第二類に入れ、第三類には、主としてその兒童を託兒所などに出して居るものであつて、その職業も一般に安定性を缺き、家庭の組織も比較的脆弱だと思はれるものを包含せしめたのであります。

尙第一類には、その職業の上から、從來の我國の實情に照して、比較的優れた稟賦を有するものゝ從事する職業と思はれるもので、従つて家庭も最も堅實であると思はれる種類のものを集めたのであります。唯、無職をこれに入れた理由は、我國の現状に

照して、幼稚園にその子弟を委ねる位の程度 of 家庭で、而も無職と稱するものは、多く軍人官吏などの退隠後か、またはそれらの未亡人かの家庭であり、または地主、家作持ちなどで、定職なくして比較的ゆたかな生活をしてをるものを含んでをる所から、一般的に考へて、無職は寧ろ第一類に屬すべきものと考へたまでありませう。

今次に各の精神検査についての結果を、採點法によりて纏めたものを元として、家庭のこの三類別に屬する兒童のあらはした成績を比較して示して見ませう。

なほ表の中に用ふる年齢の符號は、各々次のやうな年齢群の兒童であります。

- A、滿六歳以上滿六年四ヶ月までの兒童
 - B、滿五年半以上滿六年未滿
 - C、滿五年以上滿五年半未滿
 - D、滿四年半以上滿五年未滿
 - E、滿四年以上滿四年半未滿
- 第一、左右の關係の認識に關する検査問

- 1、右の手はどれですか。
- 2、左の耳は

3、右の耳は、

兒童の答によつて、その答へ方を區別し、全部いひあてたものに四點をあたへ、全く知らないものを零として検査しました。

E	D	C	B	A	被檢兒數		
					第一類	第二類	第三類
八	一一	一九	三三	二一	平均得點	被檢兒數	平均得點
〇、五〇	一、〇〇	一、九五	一、九四	三、一六	二八	一、〇六	二〇
六	七	一七	二八	一三	一、六二	二一	一、六三
一、一七	〇、八六	一、三五	一、〇六	一、六二	一、四三	二一	一、四五
八	一一	一九	三三	二一	平均得點	被檢兒數	平均得點
〇、三七	一、〇八	一、四五	一、四三	三、一六	二八	一、〇六	二〇
六	七	一七	二八	一三	一、六二	二一	一、六三
一、一七	〇、八六	一、三五	一、〇六	一、六二	一、四三	二一	一、四五

○第二、正方形の描方に關する検査の結果
採點は最高五點とし、何もかけないものを零としました。

B	A	被檢兒數		
		第一類	第二類	第三類
三三	二一	平均得點	被檢兒數	平均得點
二、七八	三、七二	二八	一三	二〇
二、七八	三、〇〇	一四	二、五〇	二、八六

			第一類	第二類	第三類
E	D	C	一九 二、七四	一七 二、五三	二一 二、一九
八	一一 二、五五	一一 二、五五	六 一、五〇	七 一、一四	八 一、二一
	一一 二、五五	一一 二、五五	八 一、二一	八 一、二一	八 一、二一

○第三、半圓形の描方の検査に關する結果
採點法は正方形の場合と同様です。

					第一類	第二類	第三類
E	D	C	B	A	被檢兒數 平均得點	被檢兒數 平均得點	被檢兒數 平均得點
八	一一 二、〇九	一九 二、三七	三三 二、九一	二一 三、一七	六 〇、三三	七 一、〇〇	八 〇、七五
	一一 二、〇九	一九 二、三七	三三 二、九一	二一 三、一七	六 〇、三三	七 一、〇〇	八 〇、七五

○第四、十形描寫に關する検査の結果
採點は正方形と同様です。

		第一類	第二類	第三類
B	A	被檢兒數 平均得點	被檢兒數 平均得點	被檢兒數 平均得點
三三 二、二四	二一 二、七一	二八 一、五四	一三 二、三一	二〇 一、二五
三三 二、二四	二一 二、七一	二八 一、五四	一三 二、三一	二〇 一、二五

			第一類	第二類	第三類
E	D	C	一九 一、六三	一七 〇、九四	二二 〇、六七
八	一一 一、六三	一一 一、六三	六 〇、三三	七 〇、一四	八 〇、二八
	一一 一、六三	一一 一、六三	六 〇、三三	七 〇、一四	八 〇、二八

○第五、嵌板の検査に關する結果
久保良英氏の使用された嵌板を用ひて試みて見ました。

採點は、子供の嵌め込んだ時間によつて、時間の早いものからおそいものまでを、五點から零までに分けました。

					第一類	第二類	第三類
E	D	C	B	A	被檢兒數 平均得點	被檢兒數 平均得點	被檢兒數 平均得點
八	一一 三、二七	一九 三、三二	三三 三、四五	二一 三、七一	六 一、三三	七 一、八六	八 一、五〇
	一一 三、二七	一九 三、三二	三三 三、四五	二一 三、七一	六 一、三三	七 一、八六	八 一、五〇

○第六、組合せ嵌板の検査に關する結果
組合せ嵌板は、組合せて或る形態を作りあげるやうにしたものを嵌め込む検査です。

採點は時間により最高を七點としました。

E	D	C	B	A	被檢兒數平均得點		
					第一類	第二類	第三類
八	一一	一九	三三	二一	二一	一三	二〇
〇、五〇	〇、七三	一、六八	三、〇六	三、七一	三、七一	三、七七	二、二〇
六	七	一七	二八	一三	一三	一三	二〇
一、五〇	一、四四	二、一八	三、一一	三、一一	三、一一	二、一二	二、一二
八	一一	二一	一四	二〇	二〇	二〇	二〇
〇、六三	一、八三	一、五五	二、一二	二、一二	二、一二	二、一二	二、一二

○第七、置換検査の結果

採點は五點から零までです。

E	D	C	B	A	被檢兒數平均得點		
					第一類	第二類	第三類
八	一一	一九	三三	二一	二一	一三	二〇
〇、五〇	〇、七三	一、六八	三、〇六	三、七一	三、七一	三、七七	二、二〇
六	七	一七	二八	一三	一三	一三	二〇
一、五〇	一、四四	二、一八	三、一一	三、一一	三、一一	二、一二	二、一二
八	一一	二一	一四	二〇	二〇	二〇	二〇
〇、五〇	一、八三	一、五五	二、一二	二、一二	二、一二	二、一二	二、一二

○第八、算術に關する検査の結果

問 1、手指七本を示してこれだけで幾つですか

- 2、一つと一つとで幾つですか
- 3、一つと二つとで幾つですか
- 4、二つと二つとで幾つですか
- 5、二つと三つとで幾つですか

採點は五點から零までにしました。

E	D	C	B	A	被檢兒數平均得點		
					第一類	第二類	第三類
八	一一	一九	三三	二一	二一	一三	二〇
〇、七五	一、四五	二、六八	三、五八	三、七一	三、七一	三、〇〇	二、四〇
六	七	一七	二八	一三	一三	一三	二〇
一、〇〇	一、二四	二、七七	三、五四	三、〇〇	三、〇〇	二、八六	二、八六
八	一一	二一	一四	二〇	二〇	二〇	二〇
一、〇〇	一、三三	一、二七	二、八六	二、四〇	二、四〇	二、四〇	二、四〇

以上述べたところの各の精神検査の結果を、児童の家庭別にしたものを見ますと、その三つの類別の間に大體次のやうな特徴を認めることが出来ます。

- 1、一二の例外を除いて、第三類の児童の成績は、第一、第二類の児童の成績におとること。
- 2、第一類の児童の成績は、一般に第二、第三類

の兒童の成績に優り、第二類の兒童の成績は、大抵第一、第三の中間にあること。

3 第一類の兒童の成績は、EよりAまでの進歩の工合が比較的規則正しいが、第二、第三類は、その進歩が不規則であり、なほ一般に、B Aに於ける進歩の度が少ない。

4、B A年齢に於て、第二第三類が、特に第一類に劣るものは、左右の關係の検査、正方形の描方及び算術の検査であり、また置換検査もこの傾向をもつ。

5、第二第三類に於て、第一類に比すれば劣つてをりながら、B Aに至つてもなほ進歩のやまないものは、半圓形及び十形の描方及び組合せ嵌板の検査の成績である。

6、各部類共、年齢の進むにつれて、成績の進歩の著しくなるものに、嵌板の検査の成績がある。

7、E Dの如き幼い年齢に於て、第一類が著しく第二類を凌駕するものに、正方形、半圓形及び十形の描方、嵌板及び組合せ嵌板の検査の成績がある。

8、E D年齢に於ては、三部類共その成績の殆んど同様なもの、または第一類が却て第二第三に劣る

ものに、左右、置換及び算術の検査がある。

9、B Aに於て、第一類が第二類に比して著しく優れてをるものに、左右、置換及び算術に關する検査がある。

10、B A年齢に於て、第一類第二類は殆んど同様の進歩の傾向を示し、第三類のみ著しくおとるものに、嵌板及び組合せ嵌板の検査がある。

私共は、兒童をその家庭の職業によりて三つの部に分ち、その各々の成績を比較した結果として、大要右のやうな特徴を認めることが出來ました。そしてこれらの特徴によつてどんなことが論斷せられるでありませうか、獨斷は暫くさけることにして、唯かうは考へられぬであらうかと思はれる二三のことについて、次に述べて見ようと思ひます。

一、前掲の12の特徴によつて、第二類は第三類より、第一類は第二第三類の兒童より、その遺傳素質及び環境の優れてゐるといふことを示すのではない。

二、3の特徴によつて、第一類の兒童は、適當な環境のもとにあつて、兒童の能力の都合よき發展が現れてゐるが、第二第三類の兒童は、動もすると、

(その遺傳素質の悪い上に)その能力の都合よき發展が阻止されつゝあるのではないか。

三、4の特徴によりて、第二第三類の家庭では、學齡間際の兒童に對しても、左右の關係を教へたり、描くことを練習させたりしてゐないことを示すのではないか。

四、同様に4の特徴によつて、吾等の行つた置換検査のやうな符號に對する器械的記憶の練習が、第二第三の家庭に於て不足してゐること、換言すれば、第二第三の家庭では、學齡間際の兒童に對して文字を教へることの少ないことを示すのではないか。

五、5及び6の特徴によつて、比較的環境の影響をうけないやうな事柄の検査の成績は、第二、第三類の兒童はつねに第一類の兒童に劣つてはゐるが、しかし進歩のたへずあらはれてゐること。換言すれば、第二、第三類の兒童も、家庭で教へられたり、練習させられたりするところは少ないが、遺傳的能力のたへず進歩してゐるのであるといふことを示すのではないか。

六、7及び8の特徴によつて、兒童の知能はそれぞれ要素的のレベルのあるものであるから、先天的

に優劣のある兒童の間にも、ある年齢においては、ある特殊の能力については、同様の能率を示すものであるといふことを示すのではないか。

この外910の特徴についてはどんなことが考へられるか、或はかゝる現象は單に偶然的のものに過ぎないだらうか、臆測を逞ふすることは、暫くひかえなければなるまいと思ひます。

○机邊より

……夕機の空が河を染めてゐる。河沿の途を大人と子供とが行く。「もう歸らうぢやありませんか」と手をひいてゐる女がいふ。「いやア、もつと行かうよ」と手をひかれてゐる子供がいふ。疲れた親は活力に溢れた子供のアスピレーションに水をさす。活力に任ずる子供は疲れた親に同行を強ひる。親と子とが自然の愛によつて結合されたらばお互の因果である。親の手に纏る事なしに河沿の途を遠くへ行く術を知らぬ子供のアスピレーションは運命の反語である。

夕の光は次第に消える。河筋は遠く白く闇の中に浮んで見える。河の面に霧が深くなる。……(「三太郎日記」より)

○静岡市こども宣傳日市内

幼稚園聯合旗行列

静岡市 宇 式 かん

一月十五日 今日はこども宣傳日と待ちに待ちたるこども達は朝早くから當地に珍らしい大雪の中を元氣よく「今日ほうれいしい宣傳日」とうたひながら幼稚園に集り午前十時に「こども宣傳日」と記した三角流の小旗と揚風船とを手に手にもち樂隊を先頭に別紙の唱歌をうたひつゝ雪の道を市役所前に向ひ進出した此處には市長縣視學中等學校長小學校長實業家等各方面の重だつた人々より成る自動車宣傳隊員及び知事夫人市長夫人其他各方面の婦人女教員等愛護の花賣の一隊に迎へられ樂隊に合せて尙二回勇ましく唱歌をうたひ萬歳を唱へながら持ちたる風船を飛ばせた。數百の風船空高く上り行く其壯觀其美觀あれよあれよと拍手喝采しばしやます夫れより一層元氣よく雪を踏みびらをまきつゝ散解したり時に十一時半當日の幼児のよろこび一通りではなかつた。

附 當日の愛護の花は市内各女學校生徒女子師範學校生徒高等小學校生徒によつて製作せられ一萬個の花は當日の午前十時にもはや賣切の盛況であつた。

希望と元氣の芽をつむな	5, 5, 5, 5	5, 5, 5, 5	5, 5, 5, 5	5, 5, 5, 5	1	3	2, 2, 2, 2	2, 2, 2, 2	2	0	清	
ケ	フ	ハ	ー	ウ	レ	シ	イ	セ	ン	デ	ン	ビ
か	あ	い	ー	が	ら	れ	て	ま	も	ら	れ	て
ミ	ン	ナ	デ	5, 5	5, 5	3, 5	5	6, 5	5, 3	5	5	2
げ	ん	き	で	ソ	ロ	ツ	テ	ウ	タ	ヒ	マ	0
フ	ウ	セ	ン	5, 5	5	5	5	1, 1	1, 2	2	3	0
お	ほ	き	く	ト	バ	シ	テ	ビ	ラ	マ	イ	テ
ウ	レ	シ	イ	2, 2	2	1	1	2, 2	2, 3	3	1	0
み	く	に	の	ウ	レ	シ	イ	セ	ン	デ	ン	0
				た	め	に	に	つ	く	し	ま	う

全國兒童デーに關する調査報告

昨年十一月帝國教育會主催の全國保育者大會に於て舉行の決議ありて其調査方を本會に託されたる兒童デーに關し本會は直ちに七名の調査委員を囑託し數回審議を遂げた結果左の要項を得ました。

一、名稱 兒童愛護デーと稱すること。

全國一齊になす時は全國兒童愛護デーと稱すること。

二、期日 五月五日を適當と認む。

五月五日は全國何れの地方にても意義ある日で此の日を全國兒童愛護デーとし其地方の狀況によつて五日の一日を以て之れに宛つるも亦其前後二三日を之れに宛つるも隨意としたし、大阪市は五六七日の三日間と定めらるゝやに聞く東京市は四五六の三日間と定む、何れも五日の意義ある日を必ず加へられるやうに致したい。

三、方法

(i) ポスター

其地方々々により考案せらるゝが最も適當と考へる、本會及大阪市の分を後に掲げて參考に供します。

ポスターの要件としては。

イ 色彩と圖案とにより人の注意を惹起するもの。

ロ 繪畫を挿入する場合には兒童の愛らしさと快感を起さしむるもの。

ハ ポスターの中に必ず記入すべきものは。

其期日、「全國兒童愛護デー」、標語、其日に舉行すべき事項等。

ニ 掲ぐべき場所 町の要所、役場其他の揭示場、停車場、電車、汽船内、湯屋、理髮所、商店、其他人の集まる所等。

二尺五寸

子寶はまことの國の寶なり

白

桃色

五月五日 兒童愛護デー

字ハ白

赤

たのもしやつんつるてんのはつ裕

日本幼稚園協會 主催
東京市保育會

字ハ黒

寸九

五分 寸三

こごも 宣傳デー

字ハ白

青

字ハ白

愛せよ 敬せよ 強く青

赤

十一月六日

赤

白

青

自動車宣傳(午前)
お勤車會(午後)
兒童愛護講演會(夜間)
兒童愛護講演會(終日)
宣傳の花賣り

主催
大阪市保育會
大阪兒童協會
日本兒童協會
大阪こども研究會
こども用品研究會

(2) 宣傳ピラ

前回本會及大阪市にてなされたるものを次に掲ぐ。

一、各中等學校、小學校、幼稚園等の兒童を通じて家庭に配付す。

二、町の交通頻繁の街路、停車場、其他群集の場所等にて配付す。

三、自働車宣傳の用に供すること。

四、寺院、神社、商店等人の多く集まる所。寄席、芝居、活動寫眞館等にて配布す。

五、ピラは數多き程效力あり。其經費は、

(1) 有志の寄附金による。

(2) 商店其他の寄贈となすこと。

但此の場合店名等は客とし主客を明らかにすること。

四、宣傳ピラの配布は保姆、學校の先生其他有志によつて行ふ。

(3) 講演會

一、兒童愛護の趣旨徹底を計る爲めに各要所の學校、公會堂、寺院等にて講演會を開くこと。

二、講師は保姆、訓導其他の兒童に興味を有する方に依頼すること。

萬の倉より子寶

力を盡せ 兒童擁護!!! 四月二十三日

持つべきものは子供なり

父は照り母は涙の雨となり

同じ恵みに育つなでしこ

生き身には餌食あり

乳房といふ天道のお扶持方

頼もしやつんつるてんの初裕

子供には菓子や砂糖の甘きより

親のあまさが大毒と知れ

親の名を揚げるも汚すも

子供の育ちのよしあしから

子供は親の生きた鏡

力を盡せ 兒童擁護!!! 四月二十三日

母のお守り子嬉し

日本幼稚園協會

コドモ宣言デ

強い子を生み、その子賢く且善良に育てることは今日急務中の急務であります。この目的を達するため、吾々は全心全力を盡すのが當然であります。今日の子供を見るに、その自由や権利は極端に束縛され、非衛生や不道徳のことが幾らでも放任されて居るではありませんか。然るに現家庭と学校と社会とは子供に對する責任を十分果たさず、あるでありませんか。今日の子供を育てるに、この兒童保護團體がこどもを宣傳デ、今下記五つの兒童保護團體がこどもを宣傳デ、兒童の福利を増進するために積極的兒童の志に他ならないのであります。國民動員を希望する市民が此舉を賛し必や多大の援助を與へらるゝ事を信ずるのであります。

主催

兒童問題講演會會場

東區東平野町七丁目 聽講自由

東區安土町三丁目

東區立寄堀南通四丁目

西區九條通二丁目

西區立寄堀南通四丁目

西區九條通二丁目

西區立寄堀南通四丁目

西區九條通二丁目

西區立寄堀南通四丁目

西區九條通二丁目

西區立寄堀南通四丁目

西區九條通二丁目

西區立寄堀南通四丁目

西區九條通二丁目

西區立寄堀南通四丁目

- 東平野第一小學校
- 船場高等小學校
- 西區尋常高等小學校
- 王區第一小學校
- 九條第一小學校
- 軒家第一小學校
- 上野宮中學校
- 難波新小學校
- 蘆池小學校
- 濟美第二小學校
- 會根嶺小學校

愛せよ 敬せよ 強く育てよ

コドモ宣言デ

大阪のコドモの爲めに 設けてほしい事業

- 大阪のこどもの爲めに眞面目に考へねばならぬ秋が参りました。こどもの福利を増すために差當り次のやうな事業が一日も早く設けてほしいのです。
- 牛乳をこどもの年の強さによつて調合して與へる場所
- 子供のある家庭を訪問して育児法に就ての注意をする巡廻婦
- こどもの齒の病を治したり又豫防したり
- こどものうち窮困のものへ食事を與へる
- 重病の後のものや轉地を必要とすること
- もの爲めの兒童保養所
- 兒童専用遊園
- 児童が四季を通じて泳ぐことの出来る水泳館
- 優秀のこどもを教育する學校
- 身體の弱い兒童を收容する常設林間學校
- 異常兒童を適當に教育する機關
- こどもの虐待を防止する爲めの事業
- こどもの娯樂を適當に指導する設備
- 母親の爲めの育児學校
- 兒童研究所

コドモ育てよ、先づ眞直

に、まんまるに

自由によるコドモの生命

名士醫士にして兒童愛護に同情ある人を依頼すること。

三、要件 講演は通俗的にして然も趣味ある話をして下さる方に依頼したく、活動寫眞、音樂會、學藝會等其の他餘興として適當なるものを加へて來會者の趣味と其數を増すことも一方法である。

(4) 協力を求むべき方面。

- 一、當局者、學務委員、其他有力者の後援を求むること。
- 二、新聞の論說又は記事等により其宣傳の徹底を求むること。
- 三、寺院、教會の説教に兒童愛護の宣傳を求むること。
- 四、教育會、婦人會、青年會、處女會、醫師會等に協力を求むること。
- 五、活動寫眞中に宣傳標語の撮影、子供に關する映畫の挿入、説明中に其意味を述ぶること等。
- 六、芝居の幕間に其廓大されたる宣傳ビラを掲ぐること。
- 七、商店其他の廣告中に「全國兒童愛護デー」及び標語等の挿入を依頼すること。

(5) 標語

- 一、本會にて昨年五月用ひたるもの。
宣傳ビラに掲載した通り。
 - 二、大阪市にて募集したるもの。
愛せよ敬せよ強く育てよ。
自然と自由はこどもの生命。
打つな叱るな甘やかすな。
親は子の友道案内。
怒つても笑つても見よ子の躰。
 - こども育てよ先づ眞直に眞圓に。
目玉でおどすな笑顔でさこせ。
小言の雨はこどもの心をしめらす。
こどもになつてこどもを愛せよ。
こどもには示すを一に云ふを二に。
- 三、本會にて特に今回この擧の爲めに巖谷小波先生に願ひたるもの。

子寶 十二句

巖谷小波

六

子寶は眞の國の寶なり。

箱入にすると子寶蟲が付き。

子寶を庵末にしたで家が斷え。

新學期升で子寶量つて居。

子寶も研ぎ過ぎると摺り減らし。

氏神へまづ子寶の御吹聴。

(6) 兒童のための講演會

兒童に取つては此日は最も感謝すべき日である其感謝の意味により又愛護の情の發露として各所にお會を開くことも附帶事業として宜敷かるべし。

本會兒童擁護宣傳舉行概要

大正十年四月二十三日

一、自働車宣傳 五臺 午後

自働車に目立ちたる裝飾をなし宣傳の大文字を表はし、市内各所の配付豫定地を巡走しつゝ宣傳せり。

二、宣傳ビラ 三十五萬枚

全市の小學校の兒童を通じて其家庭に配布せり。

市内十二ヶ所を選定し保姆の手によつて配付せり。

三、講演會

市内八ヶ所の小學校に於て開會せり。(次の廣告を宣傳ビラの裏に印刷したり)

兒童保護宣傳大講演會

來 聽 歡 迎

主催 日本幼稚園協會

○大正十年四月二十三日(土曜日)午後六時開會

◎本郷區東京女子高等師範學校講堂(本郷區湯島六丁目)

- 一、挨拶
- 一、題未定
- 一、子供に代りて
- 一、題未定

東京女高師校長	湯原元一君
東京市長 男爵	後藤新平君
東京女子大學學監	安井哲子女史
醫學博士	弘田長君

◎神田區千櫻小學校(神田區東松下町五九)

- 一、學校にて傳播する小兒傳染病に就て
- 一、子供の食物
- 一、家庭と社會

醫學博士	栗山重信君
日本女子大學教授	井上秀子女史
內務書記官	田子一民君

◎京橋區尋常小學校(京橋區金六町一七)

- 一、兒童保護に對する家庭の責任
- 一、母と子
- 一、弱き子供の保護

內務省囑託	生江孝之君
東京女高師教授	二階堂とくよ女史
醫學博士	栗山重信君

◎下谷區下谷小學校(下谷區車坂町三三)

- 一、子供と食物
- 一、彼等に勝利を與へよ
- 一、題未定

醫學士	青木醇一君
日本基督教會幹事	河井道子女史
女子青年會幹事	柵橋源太郎君
教育博物館長	

◎深川區明治小學校(深川區萬年町二ノ一七)

一、兒童保護

一、兒童教育と犯罪

一、兒童の保護増進につき

文部省事務官

乗 杉 嘉 壽 君

内務省技師

マクドナルド 氏 原 佐 藏 君

◎赤坂區仲之町小學校(赤坂區檜町一四)

一、子供は大切なもの

一、親のつとめ

一、小兒の保護及養育に就て

青山女學院教頭

塚 本 は ま 子 女 史

東京高師教授

佐 々 木 吉 三 郎 君

醫 學 士

永 井 一 夫 君

◎四谷區第二小學校(四谷區左門町七六)

一、學童の保護に就て

一、兒童と親の愛

一、子供は大切なもの

醫 學 博 士

太 田 孝 之 君

文部省督學官

塚 原 政 次 君

青山女學院教頭

塚 本 は ま 子 女 史

◎芝區神明小學校(芝區神明町二一)

一、小兒の傳染病

一、習ひ性となる

一、家庭と教育

醫 學 博 士

豐 福 環 君

自由學園家庭科長

松 岡 久 子 女 史

東京女高師教授

下 田 次 郎 君

以 上

四、新聞社は之れを贊助し記事論説に掲載せり。

尙仁丹の如き一頁を費して標語を掲げたり。

五、市内各小學校、當局者、内務省、社會局等後援者となり協力せられたり。

六、經費 本會にて支出したる總經費七百五拾圓、宣傳ビラは寄贈によれり、自働車三臺の外は寄附によれり。

講演會費一ヶ所貳拾圓講師の謝儀一人拾圓
閉會數日後に助力せられた人の集會を求めて慰勞をかね報告意見の交換等をなすため簡單なる茶話會を開きたり。

大阪市こども宣傳デー概要

一、自動車宣傳

自動車五臺に「こども宣傳デー」と大書して重なる街路を通行し各重要地點に於て宣傳ビラを配布す。
午前九時出發正午に至る。

電鐵部二臺の自動車同行して兒童電車事故防止の宣傳ビラを配布す。列外に日本兒童協會ローマ字俱樂部酒井公聲堂等の自動車同行す。

二、宣傳ビラ

三種十五萬枚を印刷し市内各要所に於て配布し新聞紙に挿入し或は小學校兒童をして持ち歸らしむ。
電鐵部も宣傳ビラを配布し尙全市十五萬の小學兒童全部に宣傳の榮を配布せり。

三、宣傳ポスター

三千枚印刷し全市の湯屋、理髮店、及街路に掲示せり。

四、花賣り

五萬個を市内の重なる婦人團體、兒童團體の好意に依つて一個十錢にて販賣す。

五、お伽會

十二ヶ所に於て午後二時より小學校兒童の爲にお伽會を催す。

六、兒童問題講演會

十五ヶ所に於て午後七時より講演會を開く。其の講師は市内に於ける醫師、教育家、兒童愛護者、五十名に達す。

七、教會の説教

八、各新聞論説
市内各基督教會に於ては兒童愛護の精神を鼓吹する説教をなす由。

九、大商店の店飾
各新聞に於て夫々或は論説を揚げ或は特別號を出し特別廣告掲載さるゝ由。

大商店食堂等にては店内若はショウ、ウインドウに愛護花を以て裝飾をなすもの多し。

經費概算

一、總經費 一〇〇〇圓

内譯

宣傳ビラ印刷費(十五萬枚) 五〇〇圓

ポスター印刷費(二千枚) 二〇〇圓

自働車賃 二〇〇圓

雜費會場借入費其他 一〇〇圓

備考

お伽會講演講師ニ對シテ謝禮ヲ要セズ。

辦當等ハ各自ノ自辦トス。

徽章販賣費用ハ其賣上金ヨリ支辨シ尙殘餘金アル場合ニハコドモ愛護ニ關スル適當ナル事業ヲ行フ。

大好評

東京帝國大學
文學部講師
ドクトル・文學士
久保良英
先生編著

兒童研究所紀要

六新刊

大判全一冊洋裝紙
綴四百頁插畫數十圖
定價金參圓八拾錢
送料拾八錢

12合輯

大判・全一冊洋裝・背皮・四方湖天皮・全
紙數壹千貳百頁・插畫三百五十圖・原色
畫一葉・定價九圓五拾錢送料五拾四錢

五卷

大判・全一冊洋裝・紙
綴四百頁・插畫數十圖
定價參圓八拾錢
送料拾八錢

本研究は歐米諸國が將來の國
家を構府する兒童を心理學的に
研究して研究する爲め巨額の國
費を投じて惜まざるを慨し、我國に
一の其機關のなきを慨し、久保
先生等同志の士が私財を投じ設
立せられたる斯界の最高權威で
ある。本研究所の紀要を公刊す
る事第六回に及び既に學術界教
育界は等しく其眞價を認識し、今
や本書を翻かすして兒童の研究
を語るの資格なき迄に激稱せら
れたる現代の教育學根柢である

六卷の内容の研究

12	讀方科に於ける教育測定	東京帝國大學 文學部講師 ドクトル 文學士 久保良英
11	國民智能検査法	東京帝國大學 文學部講師 ドクトル 文學士 久保良英
10	兒童の發生的研究	東京帝國大學 醫學部教授 醫學博士 大塚常吉
9	劣等兒の身體的變質徵候に就て	東京帝國大學 醫學部教授 醫學博士 青木誠四郎
8	會員研究 身體發育と智能との關係	東京帝國大學 醫學部教授 醫學博士 大塚常吉
7	繪畫的發展力に就て	東京帝國大學 文學部講師 ドクトル 文學士 久保良英
6	兒童の發生的研究	東京帝國大學 醫學部教授 醫學博士 大塚常吉
5	國民智能検査法	東京帝國大學 文學部講師 ドクトル 文學士 久保良英
4	讀方科に於ける教育測定	東京帝國大學 文學部講師 ドクトル 文學士 久保良英
3	兒童の發生的研究	東京帝國大學 醫學部教授 醫學博士 大塚常吉
2	劣等兒の身體的變質徵候に就て	東京帝國大學 醫學部教授 醫學博士 青木誠四郎
1	會員研究 身體發育と智能との關係	東京帝國大學 醫學部教授 醫學博士 大塚常吉

東京帝國大學醫學部講師
ドクトル・文學士

久保良英先生新撰

智能査定用具

智能の査定が手軽
に然も實際的に
出来る唯一の用具

久保先生の改訂せる智能査定法は我國各地の幼稚園小學校低能兒童收容所感化院等に用ゐられて其の價値を計ることになつた、學校に於て兒童の精神検査に缺く事の出来ない唯一の科學的智能査定用具である

ボール紙製盤附 定價金參圓 送料金拾八錢

發行所 東京市神田區文館書店 電話 四二七番
東京市神田區文館書店 電話 四二七番
東京市神田區文館書店 電話 四二七番

主 幹 東 京 帝 國 大 學 文 學 部 講 師 久 保 良 英 先 生
 編 輯 主 任 文 學 部 省 託 文 學 士 青 木 誠 四 郎 先 生

每月一日發行

幼 兒 之 研 究

大 正 十 年 創 刊 號 十 一 號 發 行 日 月 年 十 大 正

一 冊 定 價 金 參 拾 五 錢
 送 雜 料 金 壹 錢

本 誌 の 使 命

本誌は教育の出発點たる幼兒の教養百般を心理學的、生理學的、導教的に研究し、學的根底の確立に寄與すると共に、兒童日常の指
 導に對し、最も新らしい材料を提供し、その理論の實際化するに
 努むる本邦唯一の幼兒教養の機關たるを以て、使命とす。

本 誌 の 眞 實 特 色

本誌は家庭と幼稚園と尋常一二年の幼兒を而已研究發表す。
 本誌の理論研究は皆我學界の權威が苦心研究の發表である。
 本誌の實際は新らしく然も皆すぐ間に合ふ兒童教養に缺く事の出來
 るのみ。
 海外教養は（外國に於ける兒童教養の理論實際の紹介）斯界獨り本誌
 本誌の幼兒相談所は兒童保護の一切に涉り讀者の質問に應じそれぞ
 れ専門の學者實際家が懇切に明答す。

家 庭 幼 稚 園 尋 常 一 二 年 の 系 統 的 研 究

目 次

幼兒研究の必要	東京高師教授文學士 久保良英
尋常一二年生の精神検査と學級編制法	京都帝大教授醫學博士 岸邊福雄
幼兒衛生の概念	東京高師教授文學士 久保良英
歐米に於ける幼兒教育のお土産話	東京高師教授文學士 久保良英
兒童の人物畫に就ての觀察	東京高師教授文學士 久保良英
米國ヤルパート會社の理科玩具を觀て	東京高師教授文學士 久保良英
子供が心から喜ぶ運動會	東京高師教授文學士 久保良英
創作童謡の紅葉	東京高師教授文學士 久保良英
兒童の歌ころ	東京高師教授文學士 久保良英
創作童謡の影を賣つた男	東京高師教授文學士 久保良英
兒童疾病の應急手當	東京高師教授文學士 久保良英
幼稚園の作業	東京高師教授文學士 久保良英
海外教育の權威が苦心研究の發表である。	東京高師教授文學士 久保良英
本誌の實際は新らしく然も皆すぐ間に合ふ兒童教養に缺く事の出來	東京高師教授文學士 久保良英
あるのみ。	東京高師教授文學士 久保良英
海外教養は（外國に於ける兒童教養の理論實際の紹介）斯界獨り本誌	東京高師教授文學士 久保良英
本誌の幼兒相談所は兒童保護の一切に涉り讀者の質問に應じそれぞ	東京高師教授文學士 久保良英
れ専門の學者實際家が懇切に明答す。	東京高師教授文學士 久保良英

東京市神田區 神保町 電話 三五〇四 番五
 東京市神田區 神保町 電話 二四八三 番七